

壁掛けユニット (SU-WL450) 取付方法

対応モデル KJ-49X9500H

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

販売店様・特約店様へ

壁掛けユニットの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧のうえ、設置を行ってください。取り付け不備や、お取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。

確実に取り付けを行うために、壁掛けユニットに付属の取扱説明書、テレビの組み立て／設置ガイド、そして本書の事項を守ってください。

お買い上げいただきありがとうございます。
ごぞいます。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかが示されています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ

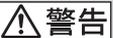
壁掛けユニットの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧のうえ、設置を行ってください。取り付け不備や、お取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

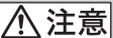
警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損傷を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止

対応モデル

対応モデルについては予告なく変更になる場合があります。本製品が使用できるかどうかはテレビ本体付属の取扱説明書、またはテレビ本体付属の別紙をあわせてご覧ください。

お客様へ



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・落下**などにより**死亡や大けが**の原因となります。

取り付け工事は専門業者に依頼する

また取り付けのときは幼児を遠ざける

正しく取り付けないと、以下のよう
なことがおこります。取り付けは専門業者に
ご依頼ください。  **禁止**

- テレビが落ちると、打撲や骨折など大けがの原因となります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともテレビの質量の4倍に耐えられる強度が必要です(テレビの質量は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください)。
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。

テレビの移動や取り外しは、専門の業者に依頼する

専門業者以外の方が移動や取り外しを行うと、テレビが落下したりして、けがや破損の原因となることがあります。また、移動や取り外しは、必ず2人以上で行ってください。

テレビを取り付けたあとはネジなどを外さない

テレビが落ちて、けがや破損の原因となります。

取り付け部品の変更は行わない

壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となることがあります。  **禁止**

対応モデル以外のものを掛けない

この壁掛けユニットは対応モデル専用です。対応モデル以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

テレビ以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。



テレビに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

テレビが外れ、下敷きになりけがの原因となることがあります。



テレビをむやみに上下左右に揺らさない

落下によるけがや破損の原因となります。



注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、テレビの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。テレビの落下によるけがや破損の原因となります。

使用上のご注意

- 壁掛けユニットにテレビを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、テレビの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、外した場合に、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。
- 機械的振動の多い場所では使用しないでください。

壁掛けユニットを取り付ける

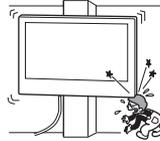
販売店様・特約店様用

警告

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みのうえ、設置および保守・点検などを安全に行ってください。

テレビがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのテレビがはみ出してしまうような場所には取り付けしないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。

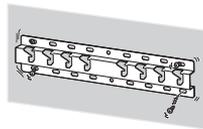


エアコンの上や下にはテレビを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ(径8 mm相当4本以上)で、しっかりと固定してください。



付属品のネジおよび取り付け金具は、取扱説明書の使用方法を守ってご使用ください。また、取扱説明書にない代替品を使用すると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にテレビに衝撃を与えない

テレビが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にテレビを取り付ける

垂直ではなかったり、平らではない壁面に取付けると、テレビが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、テレビを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。



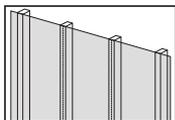
壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません

壁の材質や構造に適したネジをご使用ください。

テレビを取り付ける壁の種類は？

はじめに、テレビを取り付ける壁の種類を確かめてください。

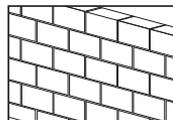
木柱壁、または間柱のある石膏ボードの場合



ご注意

- 壁面を覆う石膏ボードや、壁面パネルなどの厚みは、16 mm未満にしてください。
- 壁掛けブラケットを取り付ける柱の寸法は、取り付ける面の幅38 mm、奥行き89 mm以上が必要です。

コンクリート、またはコンクリートブロック壁の場合



ご注意

- 壁掛けブラケットは、直接コンクリート面に取り付けてください。
- 壁掛けブラケットを取り付ける壁の厚さは、203 mm以上が必要です。
- コンクリートブロック壁の場合、コンクリートブロックは、203×203×406 mm以上が必要です。

目次

テレビを取り付ける壁の種類は？	4
作業を始める前に準備する	5
部品を確認する	5
必要な工具など	6
取り付け位置を決める	7
テレビの取り付け準備をする	10
テレビを壁に取り付ける	11
取り付け完了を確認する	13
その他	13
主な仕様	14

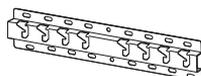
作業を始める前に準備する

- テレビに付属の取扱説明書、組み立て／設置ガイドを用意してください。
- お使いのテレビの取り付け位置をご確認ください。
- 取り付ける壁の材質に合った径8 mm相当のネジ4本以上と径5 mm相当のネジ1本を用意してください(付属品ではありません)。

部品を確認する

SU-WL450付属品

- すべての部品がそろっているかを確認してください。

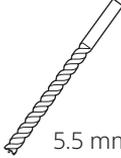
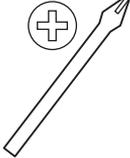
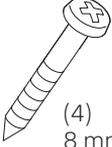
A ベース (20) (1) 	B プーリー (2) 
C PSW 6×20 (4) 	E スペーサー (20) (2) 
F ベルト (1) 	I ベースアダプター (2) 
J PSW 4×10 (8) 	K スペーサー (60) (2) 
L PSW 6×50 (2) 	

- 以下の部品はご使用の機種には使用しません。

D PSW 4×20 ブッシュ付 (2) 	G ブッシュ (20)(M4)(2) 
H PSW 4×20 (2) 	M ブッシュ (M4)(2) 
N PSW 4×50 (2) 	

必要な工具など

以下の工具などは付属していませんのでご用意ください。

<p>*1</p> 	  5.5 mm  10 mm 		
<p>*2</p> 		<p>*3</p>     <p>1.5 N · m {15 kgf · cm}</p>	
<p>*2</p>  (4)	 (4) 8 mm x 60 mm	<p>*4</p> 	 5 mm

*1 木柱壁、または間柱のある石膏ボードに使用します。

*2 コンクリート、またはコンクリートブロック壁に使用します。

*3 マイナスドライバーを使用しない機種もあります。

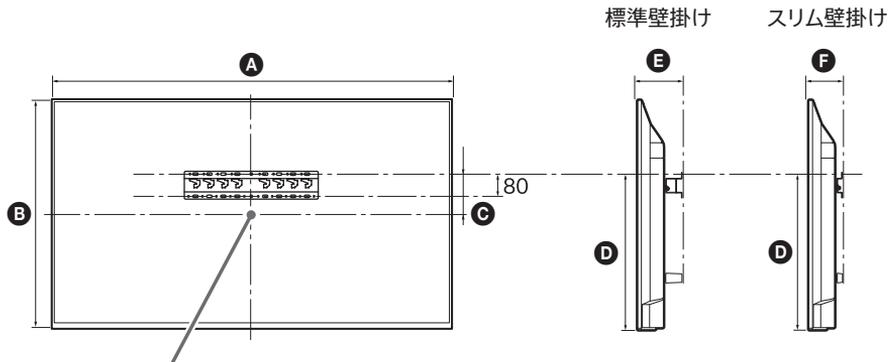
*4 本機では使用しません。

取り付け位置を決める

1 取り付け位置を決める。

壁には十分なスペースがあることをご確認ください。取り付ける壁にはテレビの質量の4倍に耐えられる強度が必要です。

テレビを壁掛けするときは、次の表を参照してください。テレビの質量については、テレビの取扱説明書を参照してください。



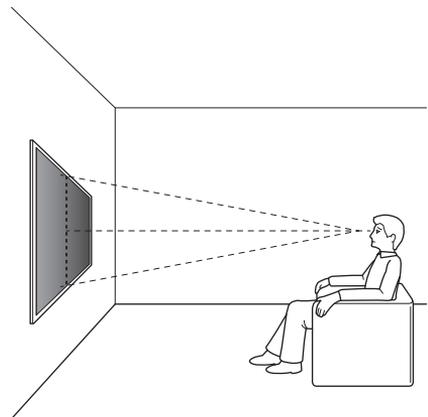
テレビを取り付けたときの画面の中心位置

単位：mm

テレビモデル名	A	B	C	D	E	F
KJ-49X9500H	1,093	629	163	480	132	90

ご注意

- 取り付け寸法は取り付け状態により若干異なることがあります。
- 壁に取り付けたとき、テレビの上側がわずかに手前に傾きます。
- お使いのテレビの取り付け位置をご確認ください。



2 壁掛けスタイルをどちらか選択する。

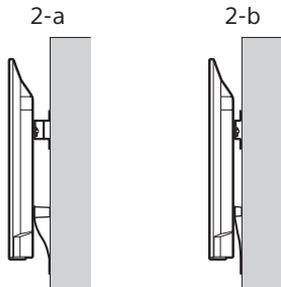
2-a 標準壁掛け

2-b スリム壁掛け

手順1の表を参照してください。

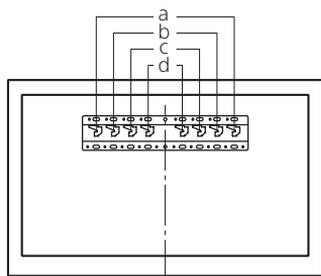


- 2-bを選ぶと、背面端子の利用が制限されます。

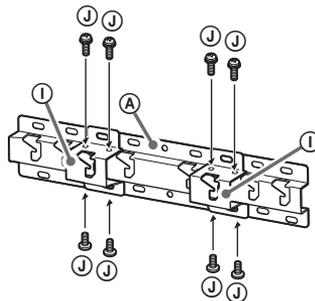


3 ベースアダプター ①の取り付け位置は下記の表を参照してください。2-bの場合は、ベースアダプター ①の取り付けは不要です。

テレビモデル名	フック位置
KJ-49X9500H	C



2-aを選んだ場合、ベースアダプター ①をネジ(PSW 4 x 10) ②でベース(20) ③に確実に取り付ける。



4 ベース(20) ③を取り付けるために、ネジ穴の位置を確認する。

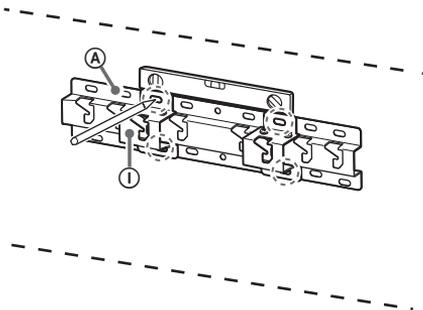
ネジ穴の位置について詳しくは、14ページをご覧ください。

2-aを選んだときは、ベースアダプター ①のネジ穴を使用してください。

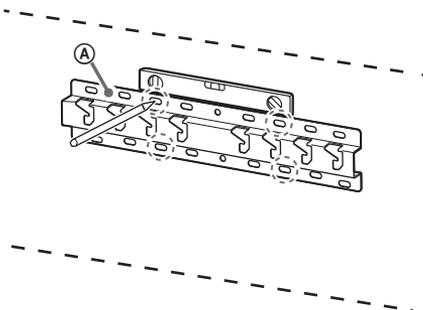


- 取り付け位置の壁面強度を確認してください。強度が不足する場合は、十分な補強をしてください。
- 取り付ける壁にはテレビの質量の**4倍**に耐えられる強度が必要です(テレビの質量は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください)。

2-a



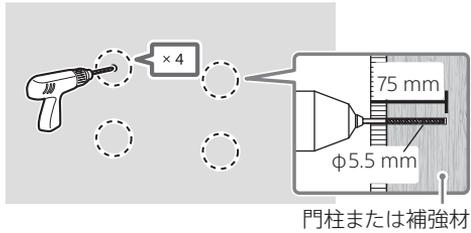
2-b



5 印に合わせて壁に下穴をあける。

取り付ける壁にはテレビの質量の4倍以上に耐えられる強度があることを確認してください。

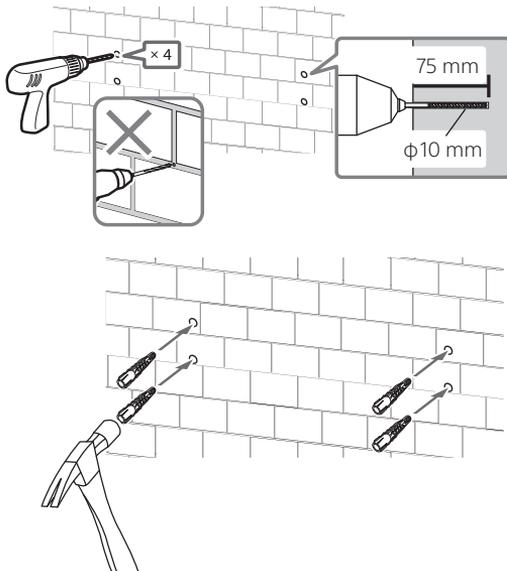
木柱壁、または間柱のある石膏ボード



ご注意

- 下穴は、5.5 mm径以上のドリルで、75 mmの深さまで開けてください。

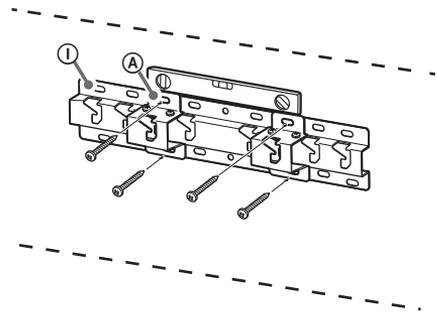
コンクリート、またはコンクリートブロック壁



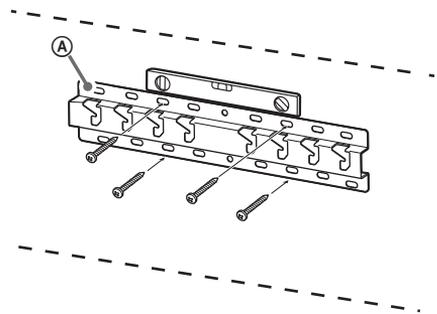
6 ベース(20) ㊸を壁に取り付ける。

- 径8 mm相当のネジ(付属品ではありません) 4本以上で固定します。
- ベース(20) ㊸は、水平器を使って水平に壁に取り付けてください。
- ベース(20) ㊸とともにネジ4本をベースアダプター①のネジ穴に取り付けます(2-aのみ)。

2-a

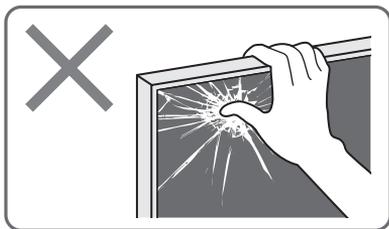


2-b



テレビの取り付け準備をする

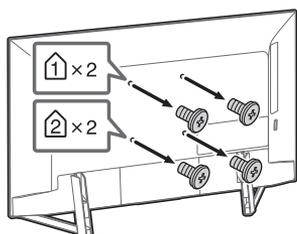
- 取り付けの際は、画面を押さえたり、強い力を加えたりしないでください。



1 テレビにスタンドを取り付ける。

組み立て／設置ガイドをご参照ください。

2 テレビ背面のネジを外す。



ご注意

- 取り外したネジは、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。

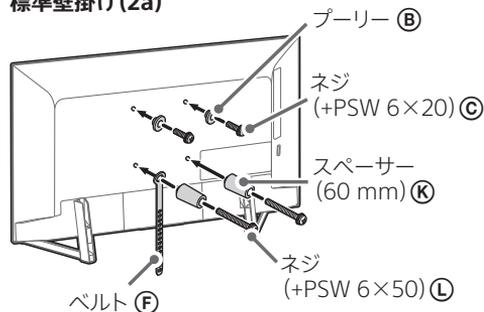
3 壁掛けユニットの付属品を取り付ける。

5ページの「部品を確認する」の「SU-WL450付属品」を参照して、壁掛けユニットの付属品を確認してください。

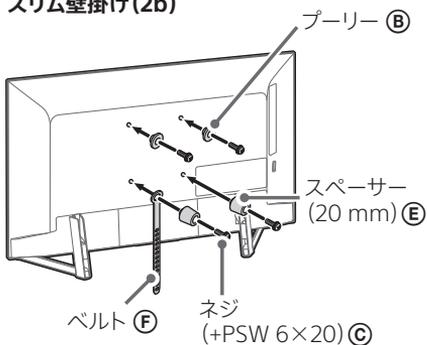
ご注意

- 壁掛けユニットの付属品はネジで確実に締め付けてください。
- 電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約1.5N・m {15kgf・cm}に設定してください。

標準壁掛け(2a)



スリム壁掛け(2b)



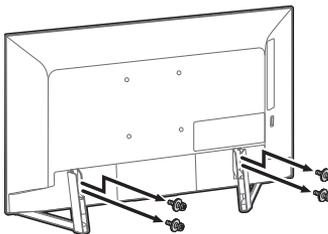
4 必要なケーブル類をテレビに接続する。

いったんテレビを壁に取り付けると、ケーブル類をつなげられなくなります。必ずテレビを壁に取り付ける前に接続してください。詳細はテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 壁の中の配線、電気工事は専門業者にご依頼ください。
- テレビを取り付ける際に足を引っ掛けないよう、接続後はケーブル類を束ねておいてください。

5 スタンドをテレビから取り外す。



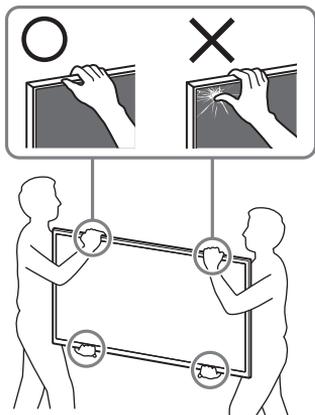
ご注意

- スタンドを取り外すためにテレビを持ち上げる際、スタンドが落下してけがをする場合がありますので、注意してください。
- スタンドをテレビから取り外すときは、スタンドが落下してテレビ台や床などを傷つけないように注意してください。
- 取り外したネジは、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。テレビを付属のスタンドに戻す場合は、必ず保管したネジを元の場所に取り付けてください。

テレビを壁に取り付ける

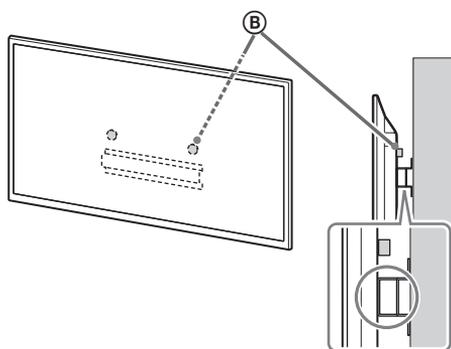
ご注意

- テレビの持ち運びは必ず2人以上で行ってください。



1 テレビを持ち上げ、設置位置を確認する。

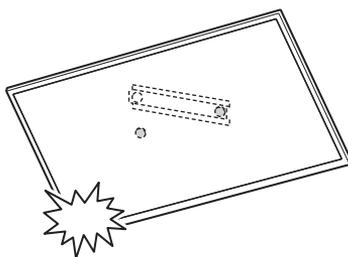
- プーリー ⑧ を掛ける位置は、「取り付け位置を決める」に記載の手順3の表(8ページ)を参照してください。
- テレビを持ち上げた際に、テレビの背面がベースまたはベースアダプターに触れていることを確認してください。



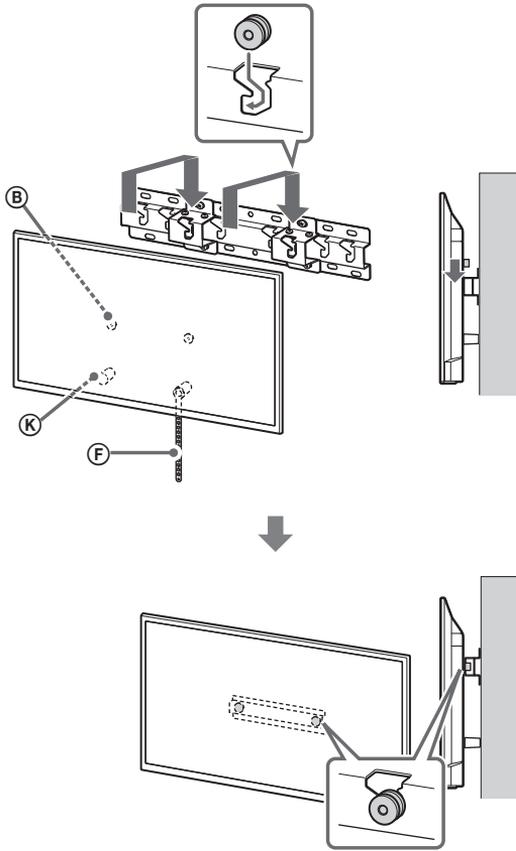
- テレビは両手でしっかりと持ってください。

2 テレビをベースまたはベースアダプターに取り付ける。

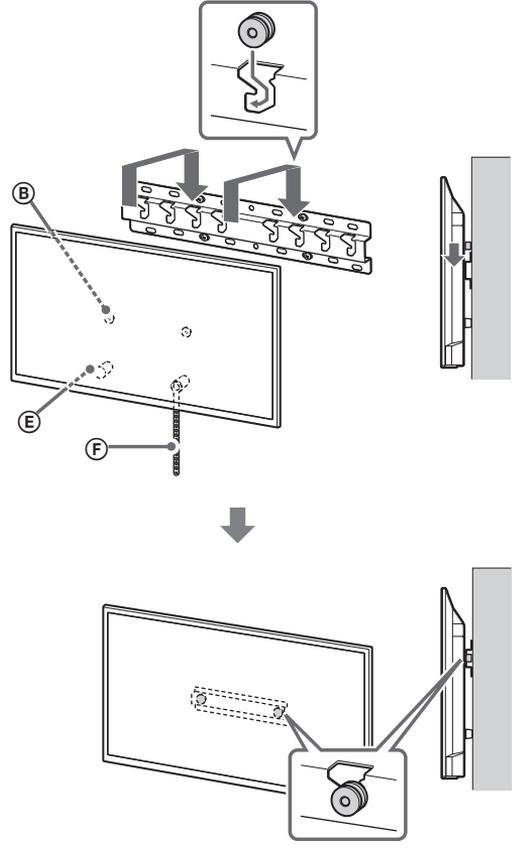
- テレビを両手でしっかり持ち、テレビ背面に取り付けたプーリー ⑧ を穴の形状にあわせながらベースまたはベースアダプターに掛けてください。
- テレビをベースまたはベースアダプターに掛けた後、必ずプーリー ⑧ がきちんと固定されているか確認し、テレビが落ちないように両手をゆっくり放してください。



2-a

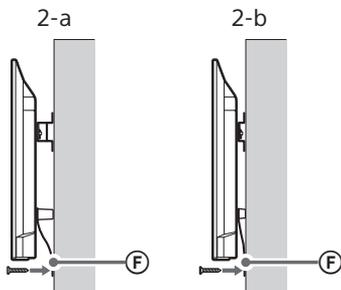


2-b



3 テレビ下側のがたつき防止の処理をする。

- ベルト⑥をゆるみがないよう壁に取り付けてください。



- 径5 mm相当のネジで固定してください (付属品ではありません)。

ご注意

- テレビの下側を軽く手前に引っ張って、下側が手前に浮き上がらないことを確認してください。もし浮き上がる場合はベルト⑥をゆるみがないように再度固定しなおしてください。

取り付け完了を確認する

以下の項目を確認してください。

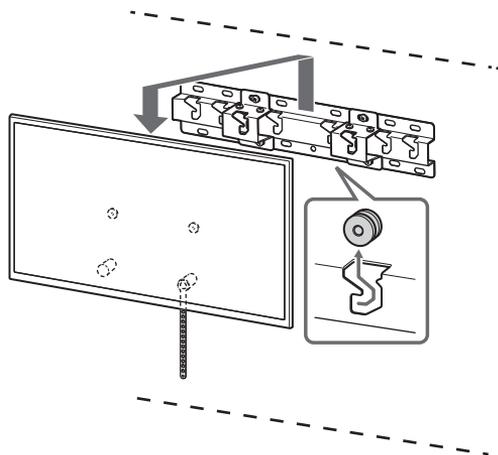
- プーリー⑨がベースまたはベースアダプターに確実に掛かっていること。
- ケーブル類がねじれたり、はさまったりしていないこと。
- ベルト⑥がゆるみなくしっかり留まっていること。

警告

- 電源コードなどの不適切な処理は、ショートによる感電や火災を引き起こす恐れがあります。安全のために確認作業を確実に行ってください。

その他

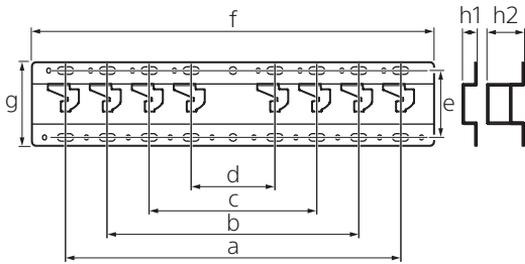
テレビを取り外すときは、取り付けと逆の手順を行ってください。



警告

- テレビを取り外すときは2人以上でしっかり持ってください。

主な仕様



寸法：(約) [mm]

a : 400

b : 300

c : 200

d : 100

e : 80

f : 480

g : 100

h1 : 20 (2-bの場合)

h2 : 60 (2-aの場合)

質量(ベースのみ)：(約) [kg]

0.8

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。